



感染症週報

令和7年2月17日発行

2月22日は
猫の日

小笠原での流行状況

第7週（2月10日から2月16日まで）

父島 感染性胃腸炎の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

第6週（2月3日～2月9日）

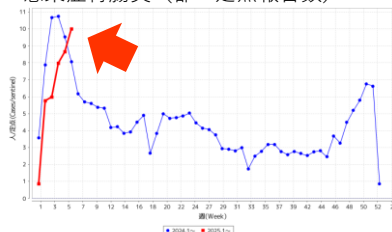
【警報・注意報】

- ・伝染性紅斑（リンゴ病）
（定点当たり報告数1.42）

【ピックアップ】

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・感染性胃腸炎

感染性胃腸炎（都 定点報告数）



- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- ・RSウイルス感染症

RSウイルス感染症（都 定点報告数）



よもやま話

出典、参照：厚生労働省HP
東京都感染症情報センター

人と猫の最も古い記録としては約4000年前の古代エジプトの壁画が通説ですが、近年ではもっともっと古い時代から人と暮らしていたと思われる発見もされています。猫はネズミの食害を防ぐことから人に飼いならされて定住し、やがて交易船に乗り世界に広まっていきました。日本では平安時代、遣唐使と共に中国から渡来したと言われ、枕草子には貴族の位を得た猫が登場します。そんな人との付き合いの長い猫は人を虜にする技術に長けているのか、猫を飼うことに反対していた猫嫌いの家族が数日で猫にメロメロになる様子などが現代では話題になったりしています。猫に限らずペットには「癒しの効果」があるといわれ、医療にも活用されることもあります。

猫と感染症



猫ひっかき病
パスツレラ症
カブノサイトファーガ感染症

人間のパートナーを長く務める猫ですが、人にうつしてしまう病原体を持っていることがあります。

猫に噛まれたり引っかかることで、口の中や爪の中に存在する菌が傷口等から入って感染します。パスツレラ症は傷口が腫れて化膿することがあります。猫ひっかき病は受傷部位に近いリンパ節が腫れ、まれに化膿することがあります。カブノサイトファーガ感染症は発熱や倦怠感、頭痛の症状から、重症化して敗血症などを起こすことがあります。

トキソプラズマ

感染している猫のフンの中のトキソプラズマ原虫が口に入ることによって感染します。感染しても無症状のことが多いですが、妊婦が初感染した時に流産や胎児の先天性障害（脳炎、脳水腫、発育障害等）をまれに起こすことがあります。



Q熱

感染している猫のフンや尿に含まれる糞尿中の病原体が口に入ることによって感染します。インフルエンザ様、肝炎様の症状を呈する急性Q熱と、心内膜炎や骨髄炎を起こす慢性Q熱があります。

感染予防のポイント

- ・フンや尿は適切に始末して、手を洗う
 - ・自分のお箸で餌をあげる等の過剰な接触をしない
 - ・定期的に爪切りをする
- また、受傷後に異常を感じたら早めに医療機関を受診しましょう。



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所

